

# 平成30年度 第1回 学校運営協議会 会議録

平成30年7月6日（金） 15:00～ 毛利台小学校会議室

## 1 学校長あいさつ

いよいよ学校運営協議会がスタートした。学校と保護者、地域との信頼関係をつくりながら、一体となって学校を応援してほしい。

## 2 自己紹介

## 3 案件

### (1) 運営協議会について

- ①学校運営協議会について
- ②平成30年度 毛利台小学校運営協議会組織（案）について
- ③平成30年度 運営協議会名簿ならびに学校運営協議会の予定について
- ④平成30年度 毛利台小学校運営協議会の進め方

### (2) 平成30年度の学校運営について

- ①平成30年度毛利台小学校の学校計画案
- ②元気アップ推進事業について
- ③平成30年度年間行事予定
- ④新指導要領全面实施に向けてのカリキュラム編成

### (3) 平成30年度の各部の取組について（部に分かれて）

各部に分かれて、学校の支援についてできそうなこと・考えられることを話し合った。

#### ①確かな学び部

##### 学習活動での人材確保

- ・学校だより・学年だよりから広げて情報を多く広く広げるとよいだろう。  
→「地域との協働年間計画表（サポート委員会）」の内容・日程を公民館だよりで事前に情報を提供する。  
憩いの家で登録、会員を通じて募集をかける。  
自治会4つが仲介をして募集。
- ・家庭科（調理・裁縫）、外国語活動・プールの監視などの人材の活用が考えられる。
- ・道徳が教科化され、内容がより深いものになった。  
→家庭教育を基盤として、考える必要性を感じる。
- ・「のびっこ」教室…個別支援を授業のみならず、昼休みなどの休憩時間に広げたい。

## ②子ども支援部

### 昼休みののびっこルームでの個別指導・支援の支援者の集め方

#### こころの教室での人的支援

- ・高齢者との接点も考えられないか。
- ・いろいろな会で一斉にアナウンスすると良いかもしれない。  
→周知の仕方が、テーマになる。(方法・いつ行うか考える。)
- ・教科書やノートなど子どもが毎日持ち歩くのが大変そうだ。違う市では、教科によって学校に置いて下校することもある。
- ・こころの教室での支援…人的支援が毎日あると毎日心の教室で子どもたちの心の元気を育むことができそうだ。

## ③安心・安全地域協働部会

### 体力についての課題

- ・二極化が顕著 どのように経験を積ませるか。  
(例) 三つ矢のお祭りで体力づくりコーナー
- ・仕掛けをどのように設定するか。(例) 水泳の監視 指導者の協力

### 自転車のヘルメット着用についての課題

- ・PTAがポスター作成している。地域に配付している。
- ・少しずつ着用は増えてきているが、中学生以上になると着用していない。  
→大人が見本になって着用をするべき。

### 子ども110番

- ・掲示板の活用の仕方(地域あるいは掲示板は自治会の管理で可能だそうだ。)

### 避難所運営委員会

- ・毎年メンバーが変わってしまう。毎年手さぐりの状態からスタートになってしまう。

## (4) 質疑・応答

## 4 おわりのことば